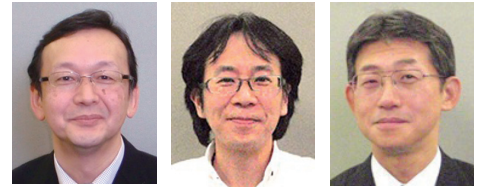


# ダムの総合点検における技術支援について



河川研究部 大規模河川構造物研究室

室長 (博士(工学)) 佐々木 隆 主任研究官 櫻井 寿之 研究官 大越 盛幸

(キーワード) ダム管理、ダム総合点検

## 1. はじめに

日本においては管理開始後長期間が経過するダムの数が急増しつつある。国土交通省所管ダムについては、所定の機能を保持するため、ダム管理者による日常点検を実施するとともに、基本3年ごとに専門家等による定期検査を実施するなど、適切な維持管理に努めてきている。これらに加えて、より長期にわたってダムの安全性及び機能の保持を確実にしていく観点から、新たに30年程度のサイクルで実施するダム総合点検<sup>1)</sup>が制度化された。

## 2. ダム総合点検実施への国総研・(独)土木研究所による技術支援

ダム総合点検では、ダム土木構造物、機械設備、電気通信設備、その他のダム施設等のダムの全ての構成要素を網羅し、それらの健全度について調査及び評価を実施し、総合的に維持管理方針としてとりまとめる。その維持管理方針をその後の日常管理や定期検査等に反映させる。図にダム総合点検の基本フローを示す。

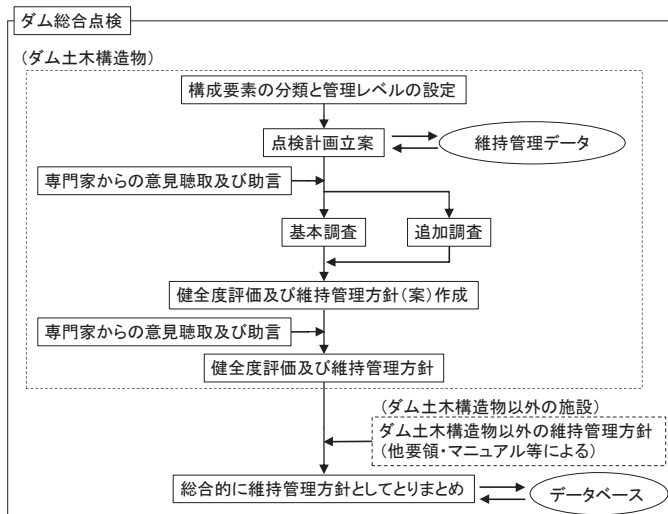


図 ダム総合点検の基本フロー<sup>1)</sup>



写真 ダム総合点検実施状況 (専門家の現場確認)

全国の国土交通省および(独)水資源機構の管理開始から30年以上経過したダムは約70基あり、平成25年10月から、順次ダム総合点検を行ってきている。図-1に示したように、ダム土木構造物を対象とした「点検計画立案」の時および「健全度評価及び維持管理方針(案)作成」の時に「専門家」から意見・助言を受けることとなっている。国総研および土研のダム構造物、ダム地質の担当者は、その「専門家」の立場として、ダム総合点検が効果的に実施されるよう、技術支援を行ってきている。なお、今年度までに関与したダムは、自治体所管の5ダムを含めて46基に上る。

## 3. おわりに

ダム総合点検は、来年以降も管理ダムの総合点検の実施が予定されている。ダム総合点検を含めたダム施設管理のPDCAサイクルの確実な実施のため、国総研では土研と連携しながら、引き続き、継続的に現場への技術支援を行っていく予定である。

### 【参考】

- 1) 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課：ダム総合点検実施要領・同解説(平成25年10月)  
[http://www.mlit.go.jp/river/shishin\\_guideline/dam/pdf/03.pdf](http://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/dam/pdf/03.pdf)